

令和 2 年度 事業シート

第6次廿日市市総合計画（前期基本計画）

担当課名	教育部 生涯学習課		
予算科目	会計	01	教育費
	款	09	教育費
	項	05	社会教育費
	目	04	文化センター費

方向性 4 新たな可能性に挑む
 重点施策 2 市民が主役！チャレンジを応援する
 施策方針 1 スポーツや趣味などの身近な挑戦の支援

事業名	はつかいち文化ホール等管理運営事業	事業開始年度	平成 31 年度
	(公財) 廿日市市芸術文化振興事業団へ事業を委託する	根拠法令 条例 個別計画等	第6次廿日市市総合計画 第2期廿日市市教育振興基本計画

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	全ての市民	市民自らが、文化（美術）の振興及び交流を図り、文化の香り高いまちを創造していく場を提供する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	(公財) 廿日市市芸術文化振興事業団へ事業を委託する。	(公財) 廿日市市芸術文化振興事業団	事業を実施する

3 令和 2 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	《制度・事業の概要》 市民の文化芸術活動を推進するため、市民参加育成創造事業として、「ほほえみコンサート（小学校訪問コンサート）」の開催及び、「はつかいち室内合奏団」「はつかいちジュニア弦楽合奏団」の運営を公益財団法人廿日市市芸術文化振興事業団に委託する。										
	<p>【歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ネーミングライツ収入 1,500 千円 <p>【歳出】 (千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>市民参加育成創造事業委託料</td> <td>4,100</td> </tr> </tbody> </table>						区分	内容	予算額	委託料	市民参加育成創造事業委託料
区分	内容	予算額									
委託料	市民参加育成創造事業委託料	4,100									
コスト情報(円)	項目		平成 30 年度決算	令和 1 年度予算	令和 2 年度予算						
	財源内訳	直接事業費 A		1,500,000	4,100,000						
		国庫支出金									
		県支出金									
		借入金(市債)									
		その他(使用料など)		1,500,000	1,500,000						
		市(市税など)			2,600,000						
		人件費(按分) B	人	1.00 人 8,707,000	1.00 人 8,509,000						
		総事業費(A+B)		10,207,000	12,609,000						
	単位換算	①	人口(4月1日現在)	117,487 人	117,487 人	117,215 人					
②		市民1人当たり		87	108						
到達目標	活動及び成果指標		単位	H30実績値	R1目標値	R2目標値	備考				
	活動	ほほえみコンサート実施校	校	17	17	17					
	成果	ほほえみコンサート実施校	校	17	17	17					

令和 2 年度 事業シート

第6次廿日市市総合計画（前期基本計画）

担当課名	経営企画部 宮島まちづくり企画室		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

方向性	4 新たな可能性に挑む
重点施策	1 はつかいちの新たな魅力を創造する
施策方針	3 シティプロモーション等による人口減少対策と新たな交流事業の推進

事業名	宮島まちづくり推進事業	事業開始年度	令和 2 年度
		根拠法令 条例 個別計画等	

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	宮島まちづくり基本構想の実現のため	目指す姿：全島博物館蔵島(貴重な自然・文化・歴史の本物が体感できる屋根のない博物館) 意 図：宮島の普遍的な価値を守り継承しつつ、心豊かな暮らしを育み、創造しながらまちづくりを進めていく いつまでに：短期(～10年以内に完了)、中長期(～20年以内に完了)、超長期(～100年)など段階的に

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	目指す姿とまちづくり目標をパートナーに説明・共有し、達成度の検証・共有する。 まちづくりの推進役、コーディネーター役	島民(住民、事業者、各種団体など) 国、広島県	目指す姿とまちづくり目標を共有し、他の関係団体や市と一体となってまちづくりを推進する。

3 令和 2 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	《制度・事業の概要》			
	<p>宮島まちづくり基本構想に基づく、宮島のまちづくりの推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり組織設立に向けた準備。（業務委託によるロードマップづくり及びプラットフォームづくり） ・第6次総合計画後期基本計画や関連計画などの調整・整合と位置づけ。 ・「宮島心得本」の作成と普及。 ・「宮島まちづくり基本構想」全般の推進、及び進行管理。（宮島地域の「つなぐ課」的な役割を担う。） 			
活動内容	【歳出】			
	宮島まちづくり組織検討業務委託料	6,391 千円		
	宮島心得本作成業務委託料	338 千円		
	事務費（旅費外）	131 千円		
		<u>6,860 千円</u>		

コスト情報(円)	項目	平成 30 年度決算	令和 1 年度予算	令和 2 年度予算
	財源内訳	直接事業費 A		
国庫支出金				
県支出金				
借入金(市債)				
その他(使用料など)				
	市(市税など)			6,860,000
	人件費(按分) B	人	人	2.00 人 17,018,000
	総事業費(A+B)			23,878,000
ト換算	① 人口(4月1日現在)	117,487 人	117,487 人	117,215 人
	② 市民1人当たり			204

到達目標	活動及び成果指標	単位	H30実績値	R1目標値	R2目標値	備考
	活動	まちづくり座談会の回数	回	—	—	5
成果	まちづくり組織の設立	団体	—	—	—	目標：令和5年度設立

令和 2 年度 事業シート

第6次廿日市市総合計画（前期基本計画）

方 向 性 4 新たな可能性に挑む
 重 点 施 策 2 市民が主役！チャレンジを応援する
 施 策 方 針 1 スポーツや趣味などの身近な挑戦の支援

担当課名	教育部 生涯学習課		
予 算 科 目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	06	保健体育費
	目	01	保健体育総務費

事業名	スポーツ振興事業	事業開始年度	平成 一 年度
	スポーツイベントの実施・支援	根拠法令 条例 個別計画等	スポーツ基本法 廿日市市スポーツ推進計画 第6次廿日市市総合計画 第2期廿日市市教育振興基本計画

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	子どもから高齢者まで、全ての市民	スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで市民誰もがスポーツに関わり、人との交流やつながりをもち、健康で豊かな生活を営むことができるまちを目指す。 (廿日市市スポーツ推進計画)

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
スポーツ団体 市	・補助金交付事務 ・スポーツ団体との連携 ・スポーツイベントの開催	NPO法人廿日市市スポーツ協会 加盟各団体、はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会実行委員会	スポーツ人口の増加 競技スポーツレベルの底上げ 東京オリンピックの機運醸成

3 令和 2 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	《制度・事業の概要》						
	<ul style="list-style-type: none"> ■はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会実行委員会に対し、補助金を交付する。 ■東京2020オリンピック聖火リレーへの参画により、東京オリンピックの機運醸成を図る。 ■東京2020パラリンピック広島県聖火フェスティバルへの参画 ■廿日市市で開催されるスポーツ推進委員マネジメント研修会を支援する。 						
	【歳出】 (単位：千円)						
	区分		内容		予算額		
	報償費		医師謝金等		37		
	需用費		聖火リレー消耗品		20		
	役務費		イベント保険		21		
	委託料		オリンピック聖火リレー関係業務委託		6,772		
			パラリンピック聖火フェスティバル参画業務委託		1,000		
	使用料及び賃借料		フェリー代ほか		150		
負担金、補助及び交付金		はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会補助金		3,000			
		聖火リレー警備負担金		3,000			
		スポーツ推進委員マネジメント研修開催負担金		200			
		合計		14,200			
コスト情報(円)	項 目		平成 30 年度決算	令和 1 年度予算	令和 2 年度予算		
	直接事業費 A		4,047,897	3,000,000	14,200,000		
	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		借入金(市債)					
		その他(使用料など)					
		市(市税など)	4,047,897	3,000,000	14,200,000		
	人件費(按分) B		人	人	人		
	総事業費(A+B)		4,047,897	3,000,000	14,200,000		
	単 位 換 算	① 人口(4月1日現在)	117,487 人	117,487 人	117,215 人		
② 市民1人当たり		34	26	121			
目 達 度 標	活動及び成果指標		単位	H30実績値	R1目標値	R2目標値	備考
	活動	体育施設	施設	13	13	13	
	成果	主要体育施設の利用人数	人	556,360	540,000	550,000	

令和 2 年度 事業シート

第6次廿日市市総合計画（前期基本計画）

担当課名	教育部 生涯学習課		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	06	保健体育費
	目	01	保健体育総務費

方向性	4 新たな可能性に挑む
重点施策	2 市民が主役！チャレンジを応援する
施策方針	3 世界にはばたく人材の育成

事業名	ホスタウン推進事業	事業開始年度	平成 29 年度
	メキシコ代表チーム事前合宿受入及び市民交流	根拠法令 条例 個別計画等	スポーツ振興法 廿日市市第6次総合計画 廿日市市第2期教育振興計画 廿日市市スポーツ振興計画

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	子どもから高齢者まで、全ての市民	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホスタウンとして、メキシコ競技団体（柔道・空手・パラ柔道）の事前合宿を受け入れ、市民とアスリートとの文化・スポーツ交流により、「東京2020オリンピック・パラリンピック」の気運を高めていくとともに、ひとづくり・まちづくりへとつなげていく。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市・県・2020東京オリンピック事前合宿廿日市市推進委員会	○ I F・NF、対象国、広島県、施設との調整 ○ 実行委員会の立上と運営	東京オリパラ大会組織委員会、広島県競技団体、宿泊施設、その他	スポーツ人口の増加 競技スポーツレベルの底上げ スポーツ指導者養成 スポーツボランティアの育成

3 令和 2 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	<<事業概要>> ホスタウン事業 <<事前キャンプ地誘致の目的>> ①ホスタウンで醸成したホスピタリティを活用しオリンピックやパラリンピアンをサポート ②トップアスリートの練習や交流により競技スポーツの底上げ ③運営ボランティアを募集・従事し、市民とトップアスリートとの交流 <<取組状況・予定>> 令和元年度 ○事前合宿の受入 ・空手 令和元年6月27日から7月11日 15日間 交流合宿 19名 ・柔道 合宿中止 令和2年度 ○直前合宿の受入予定 ・空手 令和2年7月 直前合宿 10名未満 ・柔道 令和2年7月 直前合宿 10名未満 ・パラ柔道 令和2年8月 直前合宿 10名未満 ○廿日市市のオリンピック・レガシーの創出																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>2017年</th> <th>2018年</th> <th>2019年</th> <th>2020年</th> <th>2020年以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">誘致・交渉</td> <td colspan="2">事前合宿受入</td> <td>交流事業の展開と発展</td> </tr> <tr> <td>基本協定締結(5月)</td> <td colspan="2">協議関係者の視察 交流合宿</td> <td>直前合</td> <td>相手国との交流関係の継続</td> </tr> </tbody> </table>						2017年	2018年	2019年	2020年	2020年以降	誘致・交渉		事前合宿受入		交流事業の展開と発展	基本協定締結(5月)	協議関係者の視察 交流合宿		直前合
2017年	2018年	2019年	2020年	2020年以降																
誘致・交渉		事前合宿受入		交流事業の展開と発展																
基本協定締結(5月)	協議関係者の視察 交流合宿		直前合	相手国との交流関係の継続																
【歳出】 2020東京オリンピック事前合宿廿日市市推進委員会負担金 16,089千円																				

コスト情報(円)	項目	平成 30 年度決算	令和 1 年度予算	令和 2 年度予算
	財源内訳	直接事業費 A	17,559,457	20,865,000
国庫支出金				
県支出金				
借入金(市債)			10,000,000	
その他(使用料など)				
	市(市税など)	17,559,457	10,865,000	16,089,000
	人件費(按分) B	1.50 人 12,846,000	1.50 人 13,060,500	1.50 人 12,763,500
	総事業費(A+B)	30,405,457	33,925,500	28,852,500
ト換算	① 人口(4月1日現在)	117,487 人	117,215 人	117,487 人
	② 市民1人当たり	259	289	246

到達目標	活動及び成果指標	単位	H30実績値	R1目標値	R2目標値	備考
	活動	事前合宿中の交流回数(1種目あたり) (施設訪問等の回数)	回	28	4	4
成果	交流事業への市民参加者数	人	11,571	500	800	

令和 2 年度 事業シート

第6次廿日市市総合計画（前期基本計画）

担当課名	自治振興部 国際交流・多文化共生室		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

方向性 4 新たな可能性に挑む
 重点施策 1 はつかいちの新たな魅力を創造する
 施策方針 3 シティプロモーション等による人口減少対策と新たな交流事業の推進

事業名	国際交流事業	事業開始年度	平成 5 年度
	姉妹都市交流・国際交流団体支援事業	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市国際化推進指針 (平成25年1月策定)

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民	多様な市民がつながり、自分らしく暮らせる交流・共生のまちが築かれている

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
・市 ・市国際交流協会	国際交流に関する意識啓発、姉妹都市交流、市民活動団体の育成・支援、国・県など関係機関との連携	・市国際交流協会 ・市民活動団体	国際交流事業の実施、ボランティア等人材育成、情報誌発行等

3 令和 2 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	《制度・事業の概要》			
	○姉妹都市交流事業（令和2年度実施） 姉妹都市ニュージーランド マスタートンとの交流事業 ・隔年で本市からマスタートンに学生が研修旅行で訪問する。 ○カナダ派遣事業（令和3年度実施：債務負担行為） 隔年で本市の高校生3人をカナダに派遣する ○国際交流団体（廿日市市国際交流協会）支援事業 各種の国際交流事業を行っている国際交流協会を支援する。 ・異文化理解、異文化交流、国際理解講座の開催、平和ツアー、ホームステイの受け入れ ・人材育成 ボランティア（通訳、観光ガイド、翻訳、ホストファミリー、事業協力、広報等）の育成、支援 ・姉妹都市交流に対する協力、ニュージーランド海外研修旅行			
活動内容	【歳出】			
	国際交流協会補助金	6,187 千円		
	姉妹都市研修旅行事業委託料	954 千円		
	国際交流青少年派遣事業選考試験実施業務委託料	100 千円		
	事務費等	793 千円		
		計 8,034 千円		

コスト情報（円）	項目	平成 30 年度決算	令和 1 年度予算	令和 2 年度予算
	財源内訳	直接事業費 A	7,915,051	8,021,000
国庫支出金				
県支出金				
借入金（市債）				
その他(使用料など)				
	市（市税など）	7,915,051	8,021,000	8,034,000
	人件費(按分) B	0.75 人 6,420,750	0.75 人 6,530,250	0.75 人 6,381,750
	総事業費(A+B)	14,335,801	14,551,250	14,415,750
ト換算	① 人口(4月1日現在)	117,487 人	117,487 人	117,215 人
	② 市民1人当たり	122	124	123

到達目標	活動及び成果指標	単位	H30 実績値	R1 目標値	R2 目標値	備考
	活動	国際交流・多文化共生に関する講座の開催 (事業開催・研修会により人材育成)	回	41	40	40
成果	国際交流協会登録ボランティア	人	166	170	180	

令和 2 年度 事業シート

第6次廿日市市総合計画（前期基本計画）

方 向 性 4 新たな可能性に挑む
 重 点 施 策 2 市民が主役！チャレンジを応援する
 施 策 方 針 3 世界にはばたく人材の育成

担当課名	教育部 アジアトライアスロン推進室		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	06	保健体育費
	目	01	保健体育総務費

事業名	アジアトライアスロン開催事業	事業開始年度	平成 30 年度
	ASTCアジアトライアスロン選手権の開催事業	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市スポーツ推進計画

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民 トライアスロン選手 市内外からの来場者	ASTCアジアトライアスロン選手権は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される年の開催であり、多くの市民に関わっていただくことで、スポーツの推進はもとより、国際交流や青少年の健全育成、観光振興、地域活性化などのほか、世界に向けた情報発信を図っていくことを目的とする。また、パラトライアスロン種目を行うことで、障がい者スポーツの振興につなげていく。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
ASTCアジアトライアスロン選手権廿日市実行委員会	実行委員会事務局	日本トライアスロン連合、広島県トライアスロン協会ほか	実行委員会の一員として大会開催に向けて尽力

3 令和 2 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	《制度・事業の概要》						
	【大会名称】ASTCアジアトライアスロン選手権2020廿日市 【種目】 エリート/U-23/ジュニア/ミックスリレー/パラトライアスロン/エイジ 【開催期日】 令和2年4月24日(金)~26日(日) 【コース】 廿日市市役所周辺特設会場（スイム：廿日市市パークゴルフ場沖、バイク・ラン：主に県道廿日市港線往復、フィニッシュ：ゆめタウン廿日市西側駐車場） 【位置付け】 2020年東京オリンピックのアジア大陸別選考のポイントレース（エリート）、2021年ワールドマスタースケームズ関西の日本代表選考レースの一部（エイジ） 【公認】 ITU（国際トライアスロン連合）/ASTC（アジアトライアスロン同盟） 【競技主管】 J TU（日本トライアスロン連合）/HTA（広島県トライアスロン協会）						
活動内容	【歳入】						
	・ふるさと応援基金繰入金 455 千円						
活動内容	【歳出】						
	・ASTCアジアトライアスロン選手権廿日市市実行委員会負担金 40,000 千円						
コスト情報（円）	項 目		平成 30 年度決算	令和 1 年度予算	令和 2 年度予算		
	財源内訳	直接事業費 A	6,429,709	30,000,000	40,000,000		
		国庫支出金					
		県支出金					
		借入金(市債)					
		その他(使用料など)			455,000		
		市(市税など)	6,429,709	30,000,000	39,545,000		
		人件費(按分) B	0.70 人 5,992,700	4.00 人 34,828,000	4.00 人 34,036,000		
		総事業費(A+B)	12,422,409	64,828,000	74,036,000		
	ト換算	①	人口(4月1日現在)	117,487 人	117,487 人	117,215 人	
②		市民1人当たり	106	552	632		
到達目標	活動及び成果指標		単位	H30実績値	R1目標値	R2目標値	備考
	活動	大会開催準備(進捗率)	%	-	90	100	
	成果	市民ボランティア延べ参加者数	人	-	-	900	
		延べ来場者数	人	-	-	117,000	

令和 2 年度 事業シート

第6次廿日市市総合計画（前期基本計画）

担当課名	経営企画部 行政経営改革推進課		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

方向性	4 新たな可能性に挑む
重点施策	1 はつかいちの新たな魅力を創造する
施策方針	1 新たな都市活力創出基盤の整備推進

事業名	筏津地区公共施設再編事業		事業開始年度	平成 29 年度
			根拠法令 条例 個別計画等	公共施設マネジメント基本方針 (H29.3、H30.10改訂)、公共施設再編計画（第1期）（H27.6）

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	公共サービスを必要としている市民	筏津地区公共施設再編基本構想に基づき、老朽化が進行し、また耐震性が不十分なものもある大野筏津地区の公共施設の再編を行い、施設の総量を縮減するとともに、安全性の確保を図る。また、再編にあたっては、既存の機能を単純に集約するのではなく、子育て世代や児童が気軽に利用することができるような機能を加え、行政サービスの維持・向上を図るとともに、使われ続ける施設を目指す。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	人口減少等の変化や新たなニーズに対応した持続可能な公共サービスの検討や実践	市民、コンサル・建設・施設運営等に係る民間事業者	持続可能な公共サービスの提案、新たな公共の担い手、基本計画策定等の支援

3 令和 2 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	《制度・事業の概要》																									
	<p>筏津地区公共施設再編基本計画を受け、公民連携手法による施設再編の事業実施者を選定し、事業の具体化を進める。</p> <p>【歳入】</p> <table border="0"> <tr> <td>都市構造再編集中支援事業費補助金</td> <td>76,590 千円</td> </tr> <tr> <td>公共施設等適正管理推進事業債（充当率90%）</td> <td>125,100 千円</td> </tr> <tr> <td>公共事業等債（充当率90%）</td> <td>10,800 千円</td> </tr> <tr> <td>公共施設等整備基金繰入金</td> <td>20,000 千円</td> </tr> </table> <p>【歳出】</p> <table border="0"> <tr> <td>不動産鑑定評価料</td> <td>500 千円</td> </tr> <tr> <td>用地測量業務委託料</td> <td>2,500 千円</td> </tr> <tr> <td>モニタリング業務委託料</td> <td>7,500 千円</td> </tr> <tr> <td>再編整備工事</td> <td>170,060 千円</td> </tr> <tr> <td>用地購入費</td> <td>57,600 千円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>241 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>238,401 千円</td> </tr> </table>					都市構造再編集中支援事業費補助金	76,590 千円	公共施設等適正管理推進事業債（充当率90%）	125,100 千円	公共事業等債（充当率90%）	10,800 千円	公共施設等整備基金繰入金	20,000 千円	不動産鑑定評価料	500 千円	用地測量業務委託料	2,500 千円	モニタリング業務委託料	7,500 千円	再編整備工事	170,060 千円	用地購入費	57,600 千円	事務費	241 千円	計
都市構造再編集中支援事業費補助金	76,590 千円																									
公共施設等適正管理推進事業債（充当率90%）	125,100 千円																									
公共事業等債（充当率90%）	10,800 千円																									
公共施設等整備基金繰入金	20,000 千円																									
不動産鑑定評価料	500 千円																									
用地測量業務委託料	2,500 千円																									
モニタリング業務委託料	7,500 千円																									
再編整備工事	170,060 千円																									
用地購入費	57,600 千円																									
事務費	241 千円																									
計	238,401 千円																									
コスト情報（円）	項目	平成 30 年度決算	令和 1 年度予算	令和 2 年度予算																						
	直接事業費 A	13,567,660	27,161,000	238,401,000																						
	財源内訳	国庫支出金			76,590,000																					
		県支出金																								
		借入金（市債）			135,900,000																					
		その他(使用料など)		27,000,000	20,000,000																					
		市（市税など）	13,567,660	161,000	5,911,000																					
	人件費(按分) B	1.00 人 8,561,000	1.00 人 8,707,000	1.00 人 8,509,000																						
総事業費(A+B)	22,128,660	35,868,000	246,910,000																							
ト換算	① 人口(4月1日現在)	117,487 人	117,487 人	117,215 人																						
	② 市民1人当たり	188	305	2,106																						
到達目標	活動及び成果指標	単位	H30実績値	R1目標値	R2目標値	備考																				
	活動	調査・設計	%	—	—	70																				
	活動	実施設計・建設工事	%	—	—	4																				
	成果	耐震性能不足建物の解消【筏津地区内】	棟	—	—	—	累計 2																			
成果	床面積の縮減【筏津地区内】	m ²	—	—	—	累計 1,500																				